

- 問1 「下剋上」の風潮によって、室町時代の地方政治において生じた変化として正しいものはどれですか。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
- 幕府が御成敗式目を制定し、裁判の公平性を高めることで農民の不満を解消した。
 - 北条氏が執権として幕府の実権を握り、独自の法律を定めて武士を統制した。
 - 守護代や国人が、実力で守護大名に代わって領国を支配する戦国大名が現れた。
 - 白河上皇が位を譲った後も政治を行うことで、摂関家から実権を取り戻した。
- 問2 室町時代、近畿地方などの先進地域を中心に、農民たちが自衛や村の運営のために結成した自治組織を何といいますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- 株仲間
 - 五人組
 - 惣
 - 座
- 問3 1467年に始まった応仁の乱は、京都を主な戦場として11年近く続きました。この乱の直接的な原因と、その後の社会の変化について述べた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- 南朝と北朝の二つの朝廷が対立したことが原因となり、足利義満がこれを統一することで、幕府による全国支配が完成した。
 - 室町幕府の8代将軍、足利義政の後継者争いや有力な守護大名の対立が原因となり、実力のある者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が強まった。
 - 織田信長が足利義昭を追放したことが原因となり、室町幕府が滅亡し、近世に向けた城下町の整備が進められた。
 - 元の襲来（元寇）による恩賞の不満が武士の間で高まったことが原因となり、鎌倉幕府が滅亡して天皇による親政が始まった。
- 問4 室町時代の日明貿易（勘合貿易）の形式と、その背景にある国際関係の説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
- 明からの輸入制限をかけるために、すべての貿易を長崎の出島に限定した
 - 日本が明の皇帝に貢ぎ物を届け、その返礼品を受け取る朝貢貿易の形をとった
 - 日本と明が対等な立場を強調するため、勘合符に代わり金銀を交換基準とした
 - 倭寇を鎮圧するために、幕府が明の軍隊を日本国内に駐留させることを認めた
- 問5 足利尊氏が征夷大將軍となり幕府を開いた14世紀ごろ、日本の周辺海域で活動が活発化した集団について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
- 天下の台所と呼ばれた大阪を拠点に、全国の物資を管理した。
 - 勘合貿易を独占し、幕府の許可を得て朱印船を派遣した。
 - 元軍が日本に侵攻した際、対馬や壱岐で抵抗した防人が組織された。
 - 朝鮮半島や中国沿岸で海賊活動や密貿易を行った倭寇が活動した。
- 問6 14世紀末に明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、それまで途絶えていた中国との正式な国交を回復させ、日明貿易（勘合貿易）を開始した室町幕府の第三代将軍は誰か、名称を答えなさい。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
- 足利尊氏
 - 足利義満
 - 足利義昭
 - 足利義政
- 問7 鎌倉時代から室町時代にかけて、和人とアイヌの人々との間で行われた交易や当時の社会状況について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- 西日本を中心に、干害に強い大唐米の栽培や二毛作が広がり、用水路管理のための組織化も進んだ。
 - 交易の対価として日本からは大量の銀が輸出され、アイヌの人々を通じて中国の特産品が大量に輸入された。
 - アイヌの人々との交易を独占するため、幕府は全国に五人組を組織して農民の行動を厳しく制限した。
 - アイヌの人々との交易によって、鮭や昆布、毛皮などの北方の産品が和人を通じて京都などの都市へ運ばれた。
- 問8 14世紀末から16世紀半ばにかけての明（中国）側の記録によると、明へ朝貢を行った回数はシャム（73回）や朝鮮（30回）に比べて琉球王国が171回と極めて多いことが分かっています。この時期に琉球王国が行っていた貿易の実態について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- 東南アジアから輸入した銅銭をそのまま明へ輸出し、明から高級な漆器を大量に買い付けていた。
 - 明への朝貢回数は他国より制限されていたため、主に日本との直接取引だけに限定して貿易を行っていた。
 - 明へ日本産の漆器や刀剣を輸出し、その見返りとして明から大量の香木や香料を直接仕入れていた。
 - 明から陶磁器や銅銭を得て、それを東南アジアの香料や香木とともに日本などの周辺諸国へ転売していた。
- 問9 室町幕府において、細川・斯波・畠山の三家が交代で「管領」という役職に就いた理由や、その役割について説明したものとして最も適切なものを選択してください。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- 天皇の補佐として朝廷の儀式を主導し、公家と武士の融和を図るため
 - 有力な守護大名の勢力を幕府の中核に取り込み、将軍を補佐して幕政を安定させるため
 - 地方で反乱を起こした守護大名を処断し、将軍の独裁権を強化するため
 - 東国の統治を目的として鎌倉に設置された機関を指揮・監督するため
- 問10 鎌倉時代において、後鳥羽上皇が幕府から政権を取り戻そうとして兵を挙げたものの敗北し、結果として幕府が朝廷の監視や西日本の統治を強化するために「六波羅探題」を設置する契機となった出来事を選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
- 建武の新政
 - 承久の乱
 - 平将門の乱
 - 平治の乱
- 問11 室町時代、日明貿易（勘合貿易）を利用して中国の明に渡り、現地の技法を学んで日本独自の水墨画を大成させた禅僧は誰か答えなさい。 (2021年 高知県公立入試 類似)
- 運慶
 - 狩野永徳
 - 雪舟
 - 葛飾北斎
- 問12 足利義満によって始められた日明貿易で、「勘合」と呼ばれる札が用いられた理由として、当時の時代背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため
 - 有力な守護大名が独自に行っていた私貿易を、幕府が完全に管理・独占するため
 - キリスト教の布教を目的とする宣教師の密航を阻止するため
 - 元寇による被害に対する賠償金の支払いを、明側に証明させるため
- 問13 足利義満が明との貿易において、「勘合（勘合符）」と呼ばれる証明書を使用することになった主な目的は何ですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- 日本国内の有力な大名や寺社が、独自に明と交易を行うことを許可するため
 - 幕府が認めた正式な貿易船と、当時海上で活動していた海賊（倭寇）を区別するため
 - 明から輸入する銅銭や生糸の価格を、あらかじめ一定に固定しておくため
 - 明の皇帝に対して、日本が対等な立場であることを証明する外交文書とするため

答え合わせ・解説

問1	答え 3 守護代や国人が、実力で守護大名に代わって領国を支配する戦国大名が現れた。	下剋上の風潮が強まると、それまで守護大名を補佐していた「守護代」や、地方の有力武士である「国人」たちが、自らの実力で主君を倒して領地を支配するようになりました。これによって誕生した勢力は戦国大名と呼ばれ、各地で独自の分国法を制定するなどして支配を強めました。
問2	答え 3 惣	室町時代になると農業技術の向上によって農民の地位が高まり、自分たちで村を運営する「惣（惣村）」が作られました。これに対し、「五人組」は江戸時代の幕領などで組織された連帯責任の制度であり、「座」や「株仲間」は商工業者の同業者組織を指します。
問3	答え 2 室町幕府の8代将軍、足利義政の後継者争いや有力な守護大名の対立が原因となり、実力のある者が上の者を倒す「下剋上」の風潮が強まった。	応仁の乱は、8代将軍足利義政の跡継ぎ問題をきっかけに、細川氏（東軍）と山名氏（西軍）という有力な守護大名が二派に分かれて争ったことで長期化しました。この乱の結果、将軍や幕府の権威は大きく衰退し、各地で実力のある者が主君を倒して実権を握る「下剋上」の動きが加速し、戦国時代へと移行しました。
問4	答え 2 日本が明の皇帝に貢ぎ物を届け、その返礼品を受け取る朝貢貿易の形をとった	当時の明は、中国の皇帝が周辺諸国の王に位を与え、それに対して諸国が貢ぎ物を贈る「朝貢（ちょうこう）」という外交形式をとっていました。足利義満は貿易による莫大な利益を得るため、明の皇帝から「日本国王」の称号を受け、朝貢の形式で貿易を行う道を選びました。この正式な朝貢船であることを証明するために用いられたのが勘合符であり、これによって倭寇などの密貿易船が排除されました。
問5	答え 4 朝鮮半島や中国沿岸で海賊活動や密貿易を行った倭寇が活動した。	14世紀（南北朝時代から室町時代初期）には、倭寇と呼ばれる集団が東アジアの海域で活動を強め、高麗や明を悩ませました。足利義満の代になると、これらを押さえ込む目的も兼ねて明との間で勘合貿易が始まります。防人は古代の制度、朱印船貿易は安土桃山から江戸初期、天下の台所は江戸時代の状況を指します。
問6	答え 2 足利義満	足利義満は南北朝の合一を成し遂げた後、強力な権力を背景に明との外交交渉を進めました。当時、東シナ海で活動していた海賊（倭寇）の取り締まりを求める明側の要求に応じる形で、1401年に正式な国交が樹立されました。
問7	答え 4 アイヌの人々との交易によって、鮭や昆布、毛皮などの北方の産品が和人を通じて京都などの都市へ運ばれた。	中世において、北海道を中心に独自の文化を築いていたアイヌの人々は、和人と盛んに交易を行いました。アイヌ側からは鮭、昆布、アザラシなどの毛皮といった北方の豊かな特産品が提供され、これらは和人の商船などによって京都をはじめとする各地へ運ばれ、当時の人々の食生活や文化を支える重要な役割を果たしました。
問8	答え 4 明から陶磁器や銅銭を得て、それを東南アジアの香料や香木とともに日本などの周辺諸国へ転売していた。	琉球王国は明との活発な朝貢貿易を通して、陶磁器や銅銭などを入手しました。同時に東南アジアからは香木や香料などを輸入し、これらを日本をはじめとする周辺諸国へ転売する中継貿易を行いました。
問9	答え 2 有力な守護大名の勢力を幕府の中枢に取り込み、将軍を補佐して幕政を安定させるため	室町幕府は有力な守護大名の連合体という側面が強く、特定の家系（三管領）が交代で管領を務めることで、幕府内での権力のバランスを保ちつつ、将軍の補佐を通じて全国の守護への統制を維持しようとしていました。これにより、初期の幕府運営の安定が図られました。
問10	答え 2 承久の乱	1221年に起こったこの乱により、朝廷側の勢力は完全に制圧されました。幕府はこれ以降、京都に六波羅探題を置いて朝廷を厳しく監視し、それまで支配が及びにくかった西日本への統制を強めることになりました。平治の乱はこれより以前の平安末期の出来事であり、平氏が政権を握るきっかけとなった争いです。
問11	答え 3 雪舟	雪舟は室町時代に活躍した禅僧で、幕府が派遣した勘合船で中国の明へ渡りました。彼は中国で本格的な水墨画の技法を習得し、帰国後は日本の自然に合わせた独自の構図を確立しました。代表作には「四季山水図巻」や「天橋立図」などがあります。
問12	答え 1 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため	当時、朝鮮半島や中国の沿岸部では、倭寇という海賊集団が激しい活動を行っており、明の政府は日本側にその取り締まりを強く求めています。これに対し、足利義満は明との正式な国交を樹立。明から与えられた「勘合」を所持する船だけを正規の貿易船として認める仕組みを作ること、倭寇による密貿易や略奪を排除し、国家間の安定した貿易を実現しようとしていました。
問13	答え 2 幕府が認めた正式な貿易船と、当時海上で活動していた海賊（倭寇）を区別するため	当時、東アジアの沿岸地域では倭寇と呼ばれる海賊の活動が激しく、明はこれに悩まされていました。そこで明からの要求もあり、義満は「勘合」という割り印のような札を持参した船だけを正式な貿易船として認める仕組みを導入しました。これにより、海賊船による密貿易を排除し、幕府が貿易の利益を独占することが可能になりました。

- 問1 15世紀末の大航海時代における大西洋横断航海について説明した文として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|--|--|--|
| 1. ガマは、スペインの支援を受けて西回り航路で太平洋に到達した。 | 2. マゼランは、オランダの支援を受けて大西洋を渡りアメリカ大陸の東海岸を探索した。 | 3. コロンブスは、イギリスの支援を受けてインド洋を経由しアジアに到達した。 | 4. コロンブスは、ポルトガルに対抗するスペインの援助を受けて大西洋を横断した。 |
|-----------------------------------|--|--|--|
- 問2 1333年に足利尊氏や新田義貞らの協力を得て鎌倉幕府を滅ぼした後、後醍醐天皇が自ら中心となって始めた、天皇による新しい政治体制を何と呼びますか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|---------|----------|
| 1. 院政 | 2. 建武の新政 | 3. 摂関政治 | 4. 寛政の改革 |
|-------|----------|---------|----------|
- 問3 室町時代、民衆が「徳政」を掲げて団結し、借金の帳消しを求めて土倉や酒屋を襲撃した行動の背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。当時の生活と貨幣の関わりについても触れた碑文などの記録を参考に考えなさい。 (2022年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 貨幣経済が農民の生活にまで浸透し、借金による生活の困窮が深刻化したため、実力行使による解決を図った。 | 2. 第一次世界大戦後の物価高騰に対し、富山県の主婦たちが米の値下げを求めて全国的な騒動に発展した。 | 3. 豊臣秀吉が全国の土地の広さや収穫量を調査し、農民を土地に縛り付けることで年貢を確保しようとした。 | 4. 織田信長が城下町の商工業を活性化させるために、座の特権を廃止して自由な取引を認めた。 |
|---|--|---|---|
- 問4 室町時代、借金に苦しむ農民たちが「一揆」を起こして団結し、幕府に対して借金の帳消しを求める法令を出すよう要求しました。このとき出された、債務の破棄を命じる法令を何といいますか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|----------|--------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 徳政令 | 3. 武家諸法度 | 4. 刀狩令 |
|----------|--------|----------|--------|
- 問5 鎌倉時代に親鸞が開いた浄土真宗（一向宗）が、室町時代にかけて社会に大きな影響を与えた理由について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 加賀国（石川県）などの守護大名と協力することで、幕府から公式な宗教としての保護を強く受けていたから。 | 2. 遣隋使や遣唐使によってもたらされた最新の学問を学ぶことを重視し、知識人階級からの圧倒的な支持を得たから。 | 3. 唐から招かれた鑑真の戒律を厳格に守ることで、国家を鎮める祈禱を行うことを最大の目的としたから。 | 4. 「南無阿弥陀仏」を唱えれば救われるという分かりやすい教えが農民らに広まり、講という組織を通じて強く団結したから。 |
|---|---|--|---|
- 問6 鎌倉幕府の滅亡後、建武の新政に失敗した後醍醐天皇が京都を離れ、南朝を樹立した拠点となった場所はどこか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|-------|-------|
| 1. 石見 | 2. 堺 | 3. 吉野 | 4. 博多 |
|-------|------|-------|-------|
- 問7 室町幕府の第3代將軍であり、1392年に長年続いていた南北朝の合一を成し遂げ、武家政権による支配をより確固たるものにした人物は誰か。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 徳川家光 | 2. 足利義政 | 3. 足利義満 | 4. 足利尊氏 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 室町時代から戦国時代にかけて、応仁の乱で荒廃した京都の復興に尽力し、町の警護や運営を自治的に行った裕福な商工業者たちを何と呼びますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|------|
| 1. 惣村 | 2. 問丸 | 3. 町衆 | 4. 座 |
|-------|-------|-------|------|
- 問9 室町時代、明に渡って本格的な中国の水墨画を学び、帰国後に独自の力強い筆致と大胆な構図で「秋冬山水図」などの傑作を残した画僧は誰ですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| 1. 雪舟 | 2. 空海 | 3. 運慶 | 4. 世阿弥 |
|-------|-------|-------|--------|
- 問10 14世紀から15世紀にかけて、東アジアと東南アジアを結ぶ拠点として中継貿易で繁栄し、日本に東南アジアの産物や中国の文化をもたらした勢力はどこですか。 (2026年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|----------|
| 1. 室町幕府 | 2. 倭寇 | 3. 琉球王国 | 4. ポルトガル |
|---------|-------|---------|----------|
- 問11 14世紀から16世紀にかけて、日本や朝鮮半島、中国沿岸の広い地域で略奪や海賊行為を行っていた集団は、当時、東アジア諸国の大きな悩みとなっていました。室町時代、足利義満はこの集団と正式な貿易船を区別し、明との貿易を円滑に進めるためにある制度を導入しましたが、この集団の名称として正しいものを選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 土一揆 | 2. 遣明使 | 3. 御家人 | 4. 倭寇 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問12 15世紀に成立した琉球王国において、政治・文化の中心地となり、日本や中国、東南アジアを結ぶ中継貿易の拠点として繁栄した都の名称を次のの中から選びなさい。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 十三湊 | 2. 首里 | 3. 漢城 | 4. 大都 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問13 京都の室町を拠点として政治を行った武家政権について、南北朝の合一を実現し、明との貿易を開始するなど、幕府の全盛期を築いた三代目將軍は誰ですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義政 | 2. 足利義満 | 3. 足利尊氏 | 4. 徳川家康 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 室町時代の文化において、能と密接に関わりながら発展した「狂言」の性質について説明したものとして、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 三味線の伴奏に合わせて人形を操る、江戸時代に発達した演劇である。 | 2. 江戸時代の庶民の間で流行した、社会を風刺する短歌である。 | 3. 多色刷りの版画であり、江戸時代の風俗を鮮やかに描き出したものである。 | 4. 当時の民衆の生活などをユーモラスに描いたせりふ劇である。 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 コロンブスは、ポルトガルに対抗するスペインの援助を受けて大西洋を横断した。	コロンブスは、アフリカ南端経由のインド航路開拓を進めていたポルトガルに対抗するため、スペインの女王の援助を得て西回りの大西洋横断航海を行いました。
問2	答え 2 建武の新政	鎌倉幕府の滅亡後、後醍醐天皇はそれまでの幕府による政治を否定し、天皇が直接政治を行う理想を掲げました。この政治は元号にちなんで「建武の新政」と呼ばれますが、武士の期待に十分に答えられなかったため、短期間で崩壊することとなりました。
問3	答え 1 貨幣経済が農民の生活にまで浸透し、借金による生活の困窮が深刻化したため、実力行使による解決を図った。	室町時代になると、年貢を錢で納める「代錢納」が広まるなど、農民の生活に貨幣が深く関わるようになりました。その一方で、生活に困窮して土倉や酒屋などの高利貸しから借金（ヨキメ）をする農民も増え、その負担から逃れるために「徳政（借金の帳消し）」を求めて団結する土一揆が頻発しました。柳生の徳政碑文などは、こうした民衆の要求が実を結んだことを示す貴重な記録です。
問4	答え 2 徳政令	室町時代には貨幣経済が浸透し、農民たちが土地を質に入れて借金をする状況が生まれました。生活に困窮した農民は「土一揆」を起こし、幕府に借金の帳消しを迫りました。1428年の正長の土一揆がその代表例で、これによって出された法令が徳政令です。この法令により、質入れされた土地や物品を無償で元の所有者に返還させることが可能となりました。
問5	答え 4 「南無阿弥陀仏」を唱えれば救われるという分かりやすい教えが農民らに広まり、講という組織を通じて強く団結したから。	親鸞が開いた浄土真宗は、念仏を唱えるだけで救われるという教えであったため、文字の読めない農民などにも広く浸透しました。信徒たちは「講」と呼ばれる集まりを通じて団結力を高め、室町時代には加賀国のように、一向一揆によって守護大名を倒し、約100年にわたって自治を行う地域も現れました。
問6	答え 3 吉野	後醍醐天皇は、足利尊氏との戦いに敗れて京都を脱出した後、奈良県南部の山岳地帯に位置する吉野へ逃れました。ここで改めて即位を宣言したことで、京都の北朝と吉野の南朝が並立する南北朝時代が始まりました。選択肢にある堺は自治都市、博多は貿易港、石見は銀山として知られる場所です。
問7	答え 3 足利義満	足利義満は、室町幕府の基盤を安定させた将軍です。彼は京都の室町に大規模な邸宅（花の御所）を構え、朝廷の権限を吸収することで、公家と武家の双方を統率する強力な権力を手に入れました。1392年には、対立していた南朝と北朝を一つにまとめる「南北朝の合一」を成功させ、長きにわたる内乱の時代を終わらせました。
問8	答え 3 町衆	室町時代の京都では、幕府の力が弱まる中で、豊かな商工業者たちが自衛や町の運営のために「町衆」と呼ばれる組織を結成しました。彼らは戦乱で途絶えていた祇園祭を再興するなど、京都の都市文化を維持・発展させる大きな役割を果たしました。
問9	答え 1 雪舟	足利義政の時代に遣明船で明へ渡った雪舟は、現地の自然や絵画技法を直接学びました。彼は中国のスタイルを取り入れつつも、日本の風景に合わせた独自の画風を確立し、後の日本美術に大きな影響を与えました。
問10	答え 3 琉球王国	琉球王国は1429年に尚氏によって沖縄本島が統一されて成立しました。14世紀から15世紀にかけて、明（中国）を中心とした冊封体制の中で朝貢貿易を行い、そこで得た中国製品を日本や朝鮮、東南アジアに転売し、逆に各国の産物を中国へ運ぶという「中継貿易」によって黄金時代を迎えました。
問11	答え 4 倭寇	14世紀から16世紀にかけて活動した海賊集団は「倭寇」と呼ばれます。前期倭寇は南北朝時代の混乱に乗じて朝鮮半島などで活動し、後期倭寇は16世紀に中国人主導で密貿易などを行いました。室町幕府の3代将軍である足利義満は、明からの要求に応じて倭寇を取り締まるとともに、海賊と正式な貿易船を識別するために「勘合（勘合符）」という割印を用いた「勘合貿易」を開始しました。
問12	答え 2 首里	1429年に尚巴志が三山を統一して成立した琉球王国は、現在的那覇市にある首里に都を置きました。首里は、中国から受けた冊封（朝貢貿易）や、地理的利点を生かした東南アジア・日本との中継貿易によって経済的に大きく発展しました。他の選択肢である十三湊は中世の津軽の貿易拠点、漢城は朝鮮王朝の都、大都是元（モンゴル帝国）の都を指します。
問13	答え 2 足利義満	三代目将軍である足利義満は、有力な守護大名の勢力を抑えて幕府の権威を高め、1392年に南北朝の合一を成し遂げました。また、明（中国）との間で勘合を用いた日明貿易を開始して経済的な基盤を固めるとともに、京都の北山に金閣を建立するなど、北山文化と呼ばれる華やかな文化を築きました。
問14	答え 4 当時の民衆の生活などをユーモラスに描いたせりふ劇である。	狂言は、神話や悲劇を題材とすることが多い能とは対照的に、名主と家来の関係など、当時の身近な人間関係や日常の失敗談を「笑い」として表現しました。室町時代の文化が、貴族や武士の文化だけでなく、民衆のエネルギーを反映していたことを示す代表的な事例です。

- 問1 日明貿易において、日本が輸出した品目とその背景について述べた文として、正しいものはどれですか。当時の貿易品の流れを整理して考えなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 日本は火薬の原料となる硫黄や、鉱物資源である銅、工芸品の刀剣などを輸出し、明側の需要に応えた。 | 2. 日本は仏教の経典を輸出し、外交上の優位性を保つために明の皇帝から大量の生糸を無償で受け取った。 | 3. 日本は大量の銀を輸出することで、明からキリスト教の教典やガラス製品などの西欧文化を輸入した。 | 4. 日本は国内で生産が余っていた綿織物を輸出し、その対価として明から金や香料を輸入した。 |
|--|--|---|---|
- 問2 日本の古代から中世にかけて成立した書物について述べた文として、時代順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 枕草子 → 日本書紀 → 風姿花伝 → 蒙古襲来絵詞 | 2. 枕草子 → 風姿花伝 → 日本書紀 → 蒙古襲来絵詞 | 3. 日本書紀 → 枕草子 → 蒙古襲来絵詞 → 風姿花伝 | 4. 日本書紀 → 蒙古襲来絵詞 → 枕草子 → 風姿花伝 |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
- 問3 15世紀、北山・中山・南山の三つの勢力（三山）が対立していた沖縄本島を統一し、首里を都とする琉球王国を建国した人物は誰ですか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 足利義満 | 2. 山田長政 | 3. 尚巴志 | 4. 北条時宗 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問4 室町時代に足利義満によって始められた勘合貿易において、現在の大阪府にある堺とともに貿易の拠点として繁栄した、九州北部の港町はどこか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 博多 | 2. 兵庫 | 3. 長崎 | 4. 平戸 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問5 中世の有力な港町に関する記述として、外交上の重要な拠点となり、貿易による経済的な富を背景に有力な商人が自ら町を運営する力を蓄えた「自治都市」の説明として最も適切なものはどれか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|--|
| 1. 石山本願寺を中心として門前町が形成され、一向一揆の政治的・軍事的な拠点となった。 | 2. 元軍の再来に備えるため、博多湾の沿岸に大規模な石の防壁が築かれた。 | 3. 堺の豪商たちは会合衆と呼ばれ、合議制によって行政や裁判などの町政を自主的に担った。 | 4. 蝦夷地のアイヌ民族との交易を独占的に行い、アイヌ文化と和人文化の接点となった。 |
|---|--------------------------------------|--|--|
- 問6 室町時代の農村の様子や自治組織について説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---------------------------------|
| 1. 農民たちは自衛のために武装し、寄合での決定に基づいて団結して行動した。 | 2. 商工業者が結成した「座」が、農村における年貢の徴収業務を独占した。 | 3. 自治の進展により、農民たちは「能」などの伝統芸能に関わることを禁じられた。 | 4. 幕府が任命した地頭が、寄合を主宰して村の掟を作成させた。 |
|--|--------------------------------------|--|---------------------------------|
- 問7 室町幕府の8代将軍である足利義政が担い手となった東山文化の建築的特徴について、当時の社会背景や文化の流れを踏まえた説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 禅僧の住居の様式が武家などの邸宅に取り入れられ、畳や床の間、付け書院を備えた書院造が確立した。 | 2. 鎌倉時代に中国から伝わった大仏様（天竺様）と呼ばれる技法により、重厚な屋根を支える力強い建築が寺院で広まった。 | 3. 平安時代の貴族が権力を誇示するために、大きな池を中心に複数の建物を廊下でつなげた様式が主流となった。 | 4. 南蛮貿易によるキリスト教やヨーロッパ文化の影響を強く受け、洋風の意匠を取り入れた豪華な建築が普及した。 |
|--|--|---|--|
- 問8 室町幕府の3代将軍である足利義満が、明との貿易を開始した際に導入された制度について説明します。当時、東アジアの沿岸部で活動していた海賊（倭寇）と、正式な貿易船を区別するために用いられた「合い札」の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-------|-------|
| 1. 朱印状 | 2. 往来手形 | 3. 奉書 | 4. 勘合 |
|--------|---------|-------|-------|
- 問9 室町時代に、足利義満などの権力者から保護を受けて発展した文化について述べた文章として正しいものはどれですか。京都で発生した応仁の乱の時期よりも前から、伝統的な芸術として確立されていたものを選択してください。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|---|--|
| 1. 菱川師宣によって、町人の風俗を描く浮世絵の技法が確立された。 | 2. 出雲の阿国が始めた歌舞伎踊りが、都市の町人の間で流行した。 | 3. 観阿弥・世阿弥の親子によって、歌や舞を中心とした能（能楽）が大成された。 | 4. 近松門左衛門らによって、義理人情を描いた人形浄瑠璃の脚本が数多く書かれた。 |
|-----------------------------------|----------------------------------|---|--|
- 問10 室町時代の政治と文化についてまとめた資料において、京都の北山に建てられた寺院の建築様式が「一層は寝殿造、二・三層は禅宗様（仏殿造）を組み合わせ、全体に金箔を貼った豪華なつくり」であると説明されています。この建築物と、それに関連する人物の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 金閣 — 足利義満 | 2. 銀閣 — 足利義政 | 3. 銀閣 — 足利義満 | 4. 金閣 — 足利義政 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
- 問11 13世紀後半に発生した元寇（モンゴル帝国の侵攻）が、その後の鎌倉幕府の衰退につながった理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| 1. 元と結んだ南京条約により、幕府の外交権が剥奪されたため | 2. 防衛戦であったため恩賞として与える土地が不足し、御家人の不満が高まったため | 3. 日明貿易の主導権を巡って、足利氏と北条氏が激しく対立したため | 4. 遣唐使の派遣を継続するために、農民に重い税を課すすぎて一揆が起きたため |
|--------------------------------|--|-----------------------------------|--|
- 問12 室町幕府の三代将軍である足利義満が、明との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊（倭寇）と、幕府が認めた正式な貿易船を厳格に区別するために用いられた符札の名称を答えなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 朱印状 | 2. 割符 | 3. 御教書 | 4. 勘合 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問13 室町幕府が勘合（勘合符）を用いてまで、明との貿易を管理・継続した経済的な目的として、貿易品の特徴から推察される理由を次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 明から輸入される綿織物が国内の武士の軍服として不可欠であり、幕府がその流通を独占して権威を高めるため。 | 2. 国内で貨幣を鋳造する技術や体制が整っていなかったため、明から輸入した銅銭を国内に流通させる必要があったから。 | 3. 明の皇帝から贈られる生糸や陶磁器をすべて寺社に寄進し、宗教勢力を幕府の支配下に置くための手段としていたから。 | 4. 国内の銅や硫黄の生産量が過剰になり、それらを処分するために明を唯一の廃棄先として利用していたから。 |
|--|---|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日本は火薬の原料となる硫黄や、鉱物資源である銅、工芸品の刀剣などを輸出し、明側の需要に応えた。	日本側からの主な輸出品は、硫黄、銅、刀剣などでした。硫黄は中国において火薬の原料として、刀剣は実用的な武器としてだけでなく美術品としても高く評価されていました。銀が日本の主要な輸出力となるのは石見銀山などの開発が進む16世紀以降であり、日明貿易の全盛期とは時期が異なります。また、綿織物は後の時代に朝鮮半島などから伝わるもので、この時期の主要な輸出品ではありません。
問2	答え 3 日本書紀 → 枕草子 → 蒙古襲来絵詞 → 風姿花伝	奈良時代に律令国家の正当性を示すために『日本書紀』が編纂されました。その後、平安時代中期に清少納言によって宮廷生活を綴った『枕草子』が書かれました。鎌倉時代には、元寇での自らの活躍を記録させた『蒙古襲来絵詞』が登場し、室町時代に入ると世阿弥が能の理論を『風姿花伝』としてまとめました。このように、各時代の社会情勢や文化の担い手を反映した順序で成立しています。
問3	答え 3 尚巴志	1429年に中山の勢力であった尚巴志が、北山と南山を滅ぼして沖縄本島を初めて統一しました。これにより、首里城を政治・文化の中心とする琉球王国が成立し、以後約450年間にわたり独自の国家として存続することになりました。
問4	答え 1 博多	勘合貿易（日明貿易）において、遣明船の発着拠点として特に重要な役割を果たしたのは博多（福岡県）と堺（大阪府）である。博多は古くから大陸との交流の窓口であり、室町時代には年行司と呼ばれる豪商たちによる自治が行われていた。長崎や平戸が貿易港として本格的に発展するのは、後の南蛮貿易や江戸時代の貿易においてである。兵庫（大輪田泊）は、平清盛による日宋貿易の拠点として知られる。
問5	答え 3 堺の豪商たちは会合衆と呼ばれ、合議制によって行政や裁判などの町政を自主的に担った。	堺は和泉国（現在の大阪府）に位置する港町で、日明貿易やその後の南蛮貿易の拠点として莫大な富が蓄積されました。その経済力を背景に、領主の支配を強く受けるのではなく、有力な商人（会合衆）が自分たちで町のルールを決め、運営を行う仕組みを持っていました。他の選挙制にある「一向一揆の拠点」は石山（大坂）、「アイヌとの交易」は北海道方面、「防塁」は元寇の際のものであり、自治都市としての堺の特徴とは異なります。
問6	答え 1 農民たちは自衛のために武装し、寄合での決定に基づいて団結して行動した。	室町時代の惣村では、農民が自立して村を管理したため、自分たちの権利を守るために武装して土一揆（つちいっき）を起こすこともありました。この時期には、観阿弥・世阿弥による「能」が完成されるなど、文化が民衆の間にも広まりを見せていました。幕府や地頭が主導して寄合や掟が作られたわけではなく、農民による自律的な動きであった点が重要です。
問7	答え 1 禅僧の住居の様式が武家などの邸宅に取り入れられ、畳や床の間、付け書院を備えた書院造が確立した。	足利義政が造営した慈照寺東求堂同仁斎などは、書院造の先駆けとして知られています。この様式は、室町時代に広まった禅宗の質素で精神的な美しさを尊ぶ価値観が、武家の生活空間と融合して生まれたものです。平安時代の寝殿造が開放的な空間であったのに対し、書院造は畳を敷き詰めて部屋を仕切るなど、現代の日本住宅につながる機能性と美意識を持っています。
問8	答え 4 勘合	足利義満は明の皇帝から日本国王として認められ、日明貿易を開始しました。この貿易では、倭寇という海賊集団による密貿易や略奪を防ぐため、「勘合」と呼ばれる帳簿と照らし合わせる合い札が使用されました。これにより、正式な許可を得た船だけが貿易を行うことができました。なお、朱印状はのちの安土桃山時代から江戸時代初期にかけての海外渡航許可証を指します。
問9	答え 3 観阿弥・世阿弥の親子によって、歌や舞を中心とした能（能楽）が大成された。	室町時代の北山文化の時期に、観阿弥・世阿弥の親子がそれまでの猿楽などを洗練させ、「能」として大成させました。選挙制にある歌舞伎や人形浄瑠璃、浮世絵はいずれも江戸時代に発展した町人文化（元禄文化や化政文化）の特徴であり、時代背景が異なります。
問10	答え 1 金閣 — 足利義満	京都の北山に金閣を建立したのは第3代将軍の足利義満です。金閣は公家の文化と武家の文化が融合した北山文化の象徴です。一方、第8代将軍の足利義政は京都の東山に銀閣を建立し、こちらは簡素で深い味わいのある東山文化を代表する建築物となりました。人物と場所、文化の名称を正しく区別することが重要です。
問11	答え 2 防衛戦であったため恩賞として与える土地が不足し、御家人の不満が高まったため	元寇は外国からの侵略を退ける防衛戦であったため、幕府は新たに獲得した土地がありませんでした。そのため、多大な軍費を負担して戦った御家人たちに十分な恩賞（土地）を与えることができず、彼らの生活が困窮して幕府への信頼が失われていきました。
問12	答え 4 勘合	足利義満は明の皇帝から日本国王として認められ、日明貿易を開始しました。当時、沿岸部を荒らす倭寇の存在が国際問題となっており、明側からその取り締まりを強く求められていました。そこで、中央に「本」という文字などが書かれた紙を左右半分に切り、日本側と明側でそれぞれ保管し、入港時にそれらを照合することで、正式な貿易船であることを証明する仕組みが導入されました。
問13	答え 2 国内で貨幣を鑄造する技術や体制が整っていなかったため、明から輸入した銅銭を国内に流通させる必要があったから。	日明貿易の大きな特徴の一つは、日本が「銅銭」を大量に輸入していた点にあります。当時の日本国内では、平安時代末期から続く貨幣経済の進展に対し、自前で信頼性の高い貨幣を鑄造する体制が不十分でした。そのため、幕府は明との貿易を通じて得た銅銭を国内の決済手段として活用し、経済の安定と拡大を図りました。これが、倭寇（海賊）と区別するための勘合を用いてまで貿易を独占・管理した重要な経済的動機です。

- 問1 室町時代、室町幕府や有力な寺社は財政収入を増やすために、物資の往来が盛んな街道の要所に特定の施設を設置しました。この施設を利用した制度の説明として最も適切なものを選んでください。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 主要な港に奉行所を置き、海外から持ち込まれた木材などの輸入品をすべて幕府が買い上げた。 | 2. 問屋が生産者から商品を一括で買い取る仕組みを作り、幕府がその取引額の一定割合を徴収した。 | 3. 街道の要所に関所を設置し、そこを通過する商人や旅人から通行料を徴収して収入源とした。 | 4. 幕府が公認した株仲間に営業の独占権を与える代わりに、運上や冥加と呼ばれる税を納めさせた。 |
|--|---|---|---|
- 問2 南北朝の動乱に関連して、足利尊氏が支持した京都の朝廷に対し、後醍醐天皇が拠点を置いた「吉野」の位置関係について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 京都から遠く離れた東北地方に位置し、金銀が産出されていた。 | 2. 京都から見て南側の内陸部に位置している。 | 3. 京都から見て南西の海岸沿いに位置し、港町として栄えていた。 | 4. 京都から見て西方の九州地方に位置し、外交の拠点となっていた。 |
|----------------------------------|-------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
- 問3 室町時代から戦国時代にかけて、大阪湾に面した港町である堺は、海外貿易の拠点として繁栄しました。この町では、大名などの外部勢力による支配を避け、自分たちで町を運営する自治が行われていました。このとき、堺の自治を担った36人の有力な商人からなる組織の名称を、次の中から選びなさい。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 会合衆 | 2. 惣村 | 3. 町衆 | 4. 寄合 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問4 足利義満が開始した日明貿易において、当時東アジアの沿岸部で活動していた海賊集団である倭寇と、幕府が派遣した正式な貿易船を区別するために用いられた方法はどれですか。 (2017年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|---------------------|------------------------|--------------------|
| 1. 幕府が発行した朱印状を船に掲げさせた | 2. 特定の港に限定して貿易を許可した | 3. 明の言葉を話せる通訳の同乗を義務づけた | 4. 勘合と呼ばれる割札を照合させた |
|-----------------------|---------------------|------------------------|--------------------|
- 問5 室町時代には農業や手工業の発展にともない、各地の特産物を運ぶ流通が活発になりました。この時代、馬の背に荷物を載せて陸上の輸送を担った専門の業者は何と呼ばれますか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 1. 問丸 | 2. 馬借 | 3. 座 | 4. 土倉 |
|-------|-------|------|-------|
- 問6 中世において、本州北端の津軽半島に位置する日本海側の拠点として、豪族の安藤氏のもとでアイヌの人々との交易や日本海交易の中継地として栄えた港町を何というか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|--------|-------|
| 1. 堺 | 2. 博多 | 3. 十三湊 | 4. 平泉 |
|------|-------|--------|-------|
- 問7 894年に菅原道真が遣唐使の停止を建議した理由として、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 唐の国力が衰え、往復の航路も非常に危険であったため | 2. モンゴル帝国（元）が日本への侵攻を計画し始めたため | 3. 聖徳太子が定めた冠位十二階の制度が崩壊したため | 4. 清との間で南京条約を締結し、貿易の制限がなくなったため |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------|--------------------------------|
- 問8 後醍醐天皇が行った「建武の新政」に関連する人物や出来事の説明として、正しいものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|---|
| 1. 平氏を滅ぼした源頼朝が、後醍醐天皇から征夷大將軍の職を授かった。 | 2. 北条泰時が御成敗式目を制定し、建武の新政における裁判の基準とした。 | 3. 聖徳太子が制定した冠位十二階に基づき、家柄に囚われない人材登用が行われた。 | 4. 鎌倉幕府を滅ぼすのに協力した足利尊氏が、後に離反して光明天皇を擁立した。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|--|---|
- 問9 室町時代に足利義満が始めた明との貿易において、わざわざ「勘合」と呼ばれる札を半分に分けて照らし合わせる方法が採用された目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 倭寇と呼ばれる海賊による密貿易を防ぎ、正式な貿易船であることを証明するため | 2. 朝鮮半島を経由せずに、直接中国の港へ入港する許可を個別に得るため | 3. 明の皇帝から授かった日本国王の称号が、世襲であることを確認するため | 4. 幕府が独占していた金や銀の輸出入量を、明の役人と正確に照合するため |
|--|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問10 室町時代の古記録である『大乗院寺社雑事記』には、山城国南部の国人たちが集会を開いて地域の法を制定し、守護大名の軍勢が国内に入ることを禁じた様子が記されています。このような民衆や地元の武士による自治の動きが生まれた背景として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 元寇による防衛費の負担が増大したことで、生活に困窮した武士や農民が幕府の倒幕を目的として蜂起したため。 | 2. キリスト教の布教とともにヨーロッパの自治都市の考え方が伝わり、各地で領主に抵抗する運動が広まったため。 | 3. 幕府が「建武式目」を制定し、地方の国人や百姓に対して、自ら政治を行う権利を正式に認めたため。 | 4. 応仁の乱によって幕府や守護の権威が衰え、自分たちの力で地域を守り、平和を維持する必要が生じたため。 |
|--|--|---|--|
- 問11 室町時代に、商人や手工業者が結成した「座」と呼ばれる同業者組合の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 交通の要所に位置する港などで、商品の保管や運送、売買の仲介を行った業者。 | 2. 寺社や公家に税を納める代わりに、商品の販売や製造の独占権を認められた組織。 | 3. 幕府から公認を受けて「株」を持ち、江戸時代に営業の独占を認められた組織。 | 4. 織田信長らが市場の活性化を目的として、それまでの独占的な特権を廃止した制度。 |
|---|--|---|---|
- 問12 15世紀前半から19世紀後半にかけて存在した琉球王国の政治、外交、文化の中心地であり、現在は沖縄県那覇市に位置し、世界文化遺産にも登録されている城郭の名称を選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|---------|
| 1. 首里城 | 2. 中城 | 3. 高知城 | 4. 今帰仁城 |
|--------|-------|--------|---------|
- 問13 16世紀の明（中国）において、北方のモンゴル族による侵入と、南方の沿岸部で活動した倭寇による被害が並行して発生し、国家を苦しめた情勢を指す言葉は何ですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|--------|--------|
| 1. 北虜南倭 | 2. 文禄・慶長の役 | 3. 下剋上 | 4. 鎖国令 |
|---------|------------|--------|--------|
- 問14 室町時代に行われた、明の皇帝に対して日本が朝貢（贈り物を届ける）する形式をとった貿易について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 平清盛が兵庫の港を整備して、積極的に利益を得ようとした。 | 2. 朱印状という渡航許可証を持った船が、東南アジア諸国と取引した。 | 3. 勘合という札を用いて、倭寇と正式な貿易船を区別して行われた。 | 4. 長崎の出島において、オランダや清の商人と限定的に行われた。 |
|---------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 街道の要所に関所を設置し、そこを通過する商人や旅人から通行料を徴収して収入源とした。	室町時代には農業や手工業の発達により地域間の流通が活発になりました。この経済活動に注目した室町幕府や寺社などは、街道や港に「関所」を設け、そこを通る人々から「関銭（せきせん）」や「津料（つりょう）」といった通行料を徴収しました。これは当時の権力者にとって重要な財源となりました。選択肢にある株仲間や問屋の全盛期は江戸時代であり、時代背景が異なります。
問2	答え 2 京都から見て南側の内陸部に位置している。	後醍醐天皇が南朝を開いた「吉野」は、現在の奈良県南部に位置する山深い内陸部です。京都を拠点とする足利尊氏らの勢力（北朝）に対し、後醍醐天皇は京都から南へ逃れたため「南朝」と呼ばれます。地理的にも京都の南側に位置する要害の地であったことが、約60年にも及ぶ対立を支える拠点の一つとなりました。
問3	答え 1 会合衆	堺は日明貿易（勘合貿易）や南蛮貿易の拠点として巨万の富を築き、「東洋のベニス」と称されるほどの自治都市となりました。この運営を担ったのが、36人の豪商からなる「会合衆（えごうしゅう）」です。一方、「町衆」は同時期の京都で自治や文化を支えた商工業者を指し、「惣村」は農民による自衛・自治組織を指すため、区別が必要です。
問4	答え 4 勘合と呼ばれる割札を照合させた	日明貿易は、明の要求であった「倭寇」の取り締まりを前提に始まりました。正式な貿易船であることを証明するため、日本側と明側で半分に分けた「勘合（勘合符）」と呼ばれる札を持参し、入港時にこれをつき合わせて確認する仕組みが導入されました。この仕組みから、日明貿易は「勘合貿易」とも呼ばれます。
問5	答え 2 馬借	室町時代、生産力の向上により商品の流通が盛んになると、輸送の専門業者が登場しました。陸上輸送において馬を利用した業者が「馬借」であり、牛を利用した「牛借」とともに物資の運搬を支えました。一方、港町などで水上輸送や物資の保管、委託販売を担ったのは「問（問丸）」です。「土倉」は質屋を営む金融業者を指します。
問6	答え 3 十三湊	青森県の十三湖の河口付近に位置し、鎌倉時代から室町時代にかけて、蝦夷地（現在の北海道）との北方交易や、日本海沿岸を結ぶ海上輸送の要所として繁栄した。この地を拠点とした豪族の安藤氏（安東氏）は、強力な水軍を背景に交易を支配していた。
問7	答え 1 唐の国力が衰え、往復の航路も非常に危険であったため	当時の中国大陆では唐の国力が衰退しており、命がけて渡航してまで文化や制度を吸収する必要性が薄れていました。菅原道真はこの情勢と航海の危険性を考慮して派遣の中止を提案し、これを機に日本の独自性が強い国風文化が発達することとなりました。
問8	答え 4 鎌倉幕府を滅ぼすのに協力した足利尊氏が、後に離反して光明天皇を擁立した。	建武の新政に不満を持った武士たちの支持を集めた足利尊氏は、後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏が京都を占領して光明天皇を立てたのに対し、後醍醐天皇は吉野（奈良県）に逃れて自らの正統性を主張したため、日本は南北朝時代という分裂期に突入することになります。
問9	答え 1 倭寇と呼ばれる海賊による密貿易を防ぎ、正式な貿易船であることを証明するため	当時、東アジアの沿岸部では倭寇（前期倭寇）と呼ばれる海賊が活動し、略奪や密貿易を行っていました。明は倭寇の取り締まりを強く求めていたため、幕府は「勘合」という割印のある札を持参させ、それを持たない海賊船と正式な遣明船を厳格に区別する仕組みを整えました。
問10	答え 4 応仁の乱によって幕府や守護の権威が衰え、自分たちの力で地域を守り、平和を維持する必要が生じたため。	室町時代中期、応仁の乱が長期化したことで、中央の幕府や地方を統治する守護大名の権威が失墜しました。戦乱に巻き込まれた地域の武士や農民は、自らの土地や生活を守るために団結し、守護の支配を拒否して自発的に集会を開くようになりました。これが山城の国一揆のような組織的な自治の動きにつながりました。他の選択肢は、時代設定や背景が一致しません。
問11	答え 2 寺社や公家に税を納める代わりに、商品の販売や製造の独占権を認められた組織。	室町時代の商工業者は、自分たちの利益を守るために「座」という同業者組合を結成しました。彼らは有力な寺社や公家を保護者（本所）とし、座銭と呼ばれる税を納めることで、その商品の製造や販売を自分たちだけで行うことができる「営業の独占権」を得ていました。江戸時代の「株仲間」や、運送業者である「問（問丸）」、後の「楽市・楽座」と混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 1 首里城	琉球王国は1429年に尚氏によって統一され、那覇にある首里城を拠点に約450年間存続しました。首里城は中国や日本、東南アジアとの交流の影響を受けた独自の建築様式を持っており、王国の象徴として機能しました。2000年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして世界遺産に登録されています。
問13	答え 1 北虜南倭	明の時代、北からのモンゴル族（北虜）と南からの倭寇（南倭）という二つの外敵に悩まされた状況を「北虜南倭」と呼びます。この時期の倭寇は「後期倭寇」と呼ばれ、日本人だけでなく中国人も多く含まれていました。明はこれに対抗するため、民間の海上取引を禁じる海禁政策をとりましたが、かえって密貿易や海賊行為を助長させる結果となりました。
問14	答え 3 勘合という札を用いて、倭寇と正式な貿易船を区別して行われた。	室町時代の足利義満によって始められたこの貿易は、日明貿易（勘合貿易）と呼ばれます。明側が求めた倭寇の禁止に応じるため、勘合符と呼ばれる札を照合させることで正式な船であることを確認しました。他の選択肢にある平清盛は平安時代の日宋貿易、朱印状は安土桃山時代から江戸時代初期、出島は江戸時代の鎖国下の状況を指しているため、室町時代の説明としては不適切です。

- 問1 室町時代に形成された自治組織である「惣」が、その連帯を背景に、幕府や守護大名に対して借金の帳消し（徳政）などを求めて起こした集団行動を何といいますか。 （2022年 徳島県公立入試 類似）
1. 公事方御定書 2. 土一揆 3. 打ちこわし 4. 米騒動
- 問2 琉球の国王が中国の皇帝に対し、臣下としての礼をとって貢ぎ物を届けることで、国王としての地位や貿易の許可を認めてもらう国際的な関係を何と呼びますか。 （2018年 群馬県公立入試 類似）
1. 朱印船貿易 2. 朝貢 3. 勘合貿易 4. 日宋貿易
- 問3 15世紀の日本では、農民らが団結して行動を起こす「土一揆」が頻発するようになりました。1428年（正長元年）に起こった一揆において、参加した人々が土倉や酒屋を襲撃した主な理由として、最も適切な説明を選びなさい。 （2023年 山形県公立入試 類似）
1. 借金を帳消しにする「徳政」を幕府に認めさせるため。 2. 都市部への物資の輸送を担う「馬借」の権利を守るため。 3. 新しい貨幣の発行を幕府に中止させるため。 4. 特定の商品の専売権を持つ「座」を解散させるため。
- 問4 14世紀の中世日本において、現在の青森県に位置する日本海側の港を拠点とし、アイヌの人々との交易品を畿内へもたらすなど、北東北と中央を結ぶ遠隔地取引で栄えた豪族の活動拠点として正しいものはどれですか。 （2021年 愛知県公立入試 類似）
1. 坊津 2. 十三湊 3. 堺 4. 博多
- 問5 14世紀の日本では、京都の北朝と吉野の南朝の二つの朝廷が対立する動乱が続いていました。この約60年に及ぶ内乱を、1392年に南朝と北朝の合一（南北朝の合一）を実現させることで終結させ、幕府の支配力を高めた室町幕府第3代将軍は誰ですか。 （2019年 佐賀県公立入試 類似）
1. 足利義教 2. 足利尊氏 3. 足利義満 4. 足利義政
- 問6 室町時代には、農業技術の進歩によって農業生産力が大きく向上しました。その要因として、灌漑技術の向上や肥料の使用拡大とともに全国へ普及した、同じ耕地で一年の間に二種類の異なる作物（主に夏に米、冬に麦など）を栽培する農業方法を何といいますか。 （2022年 佐賀県公立入試 類似）
1. 二毛作 2. 単作 3. 三毛作 4. 輪作
- 問7 室町時代に行われた日明貿易において、正規の貿易船であることを証明し、当時「倭寇」と呼ばれた海賊と区別するために導入された「合い札」の名称を答えなさい。 （2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 飛脚問屋の鑑札 2. 割符 3. 勘合 4. 朱印状
- 問8 琉球王国の歴史や貿易の状況について説明した文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 （2016年 神奈川県公立入試 類似）
1. 宗氏が対馬を拠点として、朝鮮半島から輸入される朝鮮人参などを日本本土に広めた。 2. 江戸幕府の鎖国政策のもとで、長崎の出島のみを窓口としてオランダや中国と貿易を行った。 3. 明治政府によって派遣された屯田兵が中心となり、北方領土の開拓と交易の拡大を進めた。 4. 尚氏が統治し、東南アジアや中国、日本を結ぶ海上交通の拠点として中継貿易で繁栄した。
- 問9 室町時代、借金に苦しむ馬借や農民たちが団結し、幕府や高利貸しに対して借金の帳消しを求めて起こした行動を何といいますか。 （2026年 福岡県公立入試 類似）
1. 一向一揆 2. 座 3. 土一揆 4. 惣村
- 問10 室町時代、北陸地方と京都を結ぶ交通の要衝であった近江国（現在の滋賀県）などを拠点とし、馬の背に荷物を載せて物資を運んだ運送業者を何と呼びますか。 （2020年 静岡県公立入試 類似）
1. 問丸 2. 町衆 3. 馬借 4. 座
- 問11 1334年ごろに京都で掲げられた「二条河原の落書」が批判の対象とした、後醍醐天皇を中心とする政治体制の名称として正しいものはどれですか。 （2021年 和歌山県公立入試 類似）
1. 守護・地頭の設置 2. 版籍奉還 3. 建武の新政 4. 院政
- 問12 室町時代の対外関係について述べた次の文のうち、三代将軍足利義満が行った政策として正しいものはどれですか。 （2025年 神奈川県公立入試 類似）
1. 元軍による二度にわたる侵攻を退けた後、中国大陸との交流を一時中断した 2. 明の皇帝から「日本国王」に封じられ、朝貢の形式をとる勘合貿易を開始した 3. 琉球王国を仲介役として、東南アジア諸国との間で中継貿易を盛んに行った 4. キリスト教の広まりを警戒し、欧州諸国との貿易を平戸と長崎の二港に制限した
- 問13 室町時代初期において、三代将軍の足利義満が有力な守護を次々と討伐した背景には、幕府の権威を確立しようとする意図がありました。幕府がこのような守護への統制を行った最大の目的として、最も適切な説明はどれか。 （2025年 静岡県公立入試 類似）
1. 守護を各地の国司の下に配置し直し、土地の支配権を幕府から朝廷へと返還する手続きを円滑に進めるため。 2. 守護の持つ軍事力を解体し、公家による律令国家の仕組みを復活させて、中央集権的な政治体制を築くため。 3. 内乱を未然に防ぐとともに、各地で強大な勢力を持つ守護を幕府の体制に協力させ、将軍の支配力を高めるため。 4. 有力な守護に海外貿易の権利を独占させ、その利益を幕府が徴収することで、幕府の財政基盤を安定させるため。
- 問14 室町時代、足利義満によって始められた中国（明）との貿易では、倭寇と呼ばれる海賊による密貿易と区別するために、ある証明書が用いられました。この貿易の名称と仕組みについて述べたものとして正しいものはどれですか。 （2021年 宮城県公立入試 類似）
1. 平清盛によって大輪田泊が整備され、宋の貨幣を大量に輸入した日宋貿易 2. 勘合（勘合符）という合い札を使い、明の公認であることを証明した勘合貿易 3. 長崎に設置された唐人屋敷において、清の商人と限定的に行われた長崎貿易 4. 朱印状という海外渡航許可証を用いた、東南アジア諸国との朱印船貿易
- 問15 鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要地や寺社の門前などで、月に数回、決まった日に開かれた市場を何と呼びますか。ここでは、宋銭や明銭などの貨幣が盛んに使われるようになりました。 （2016年 京都府公立入試 類似）
1. 座 2. 問丸 3. 楽市・楽座 4. 定期市

答え合わせ・解説

問1	答え 2 土一揆	惣の結成によって農民の団結力が強まると、彼らは武器を持って集団で行動し、幕府に徳政令（借金の帳消し）の発布を求める「土一揆（どいつき）」を起こすようになりました。1428年の正長の土一揆などがその代表例です。「打ちこわし」は江戸時代の都市部で起きた暴動、「米騒動」は1918年の近代の出来事、「公事方御定書」は江戸時代の裁判基準を定めた法律です。
問2	答え 2 朝貢	琉球王国は大規模な独自の軍隊を持つ代わりに、中国（明や清）と「朝貢」と呼ばれる主従関係を結ぶことで、国際的な信用と安全、そして貿易の独占権を獲得しました。この関係は、単なる経済的なやり取りだけでなく、中国皇帝から「琉球国王」としてのお墨付きをもらうという政治的な意味合いが強く、琉球の国家としてのアイデンティティ形成に深く関わっています。
問3	答え 1 借金を帳消しにする「徳政」を幕府に認めさせるため。	室町時代の中期、凶作や疫病などで苦しむ農民や、物資の輸送を担う馬借たちが団結し、金融業者である土倉や酒屋を襲撃して借金の証文を奪うなどの土一揆が起きました。彼らは幕府に対し、借金を無効にする「徳政令」の発布を強く求めました。当時の状況を物語る資料として、大和国（現在の奈良県）には「正長元年以前の負債はすべて無効である」という内容が刻まれた石碑が残されています。
問4	答え 2 十三湊	14世紀の北東北では、安藤氏（安東氏）などの豪族が津軽地方の十三湊を拠点に活動しました。ここではアイヌの人々から得たサケやコンブといった北方産品を、日本海交易を通じて近畿地方などの遠隔地へ運ぶ大規模な商業ネットワークが形成されていました。これは中世における日本の領域を超えた多様な交流を示す重要な史実です。
問5	答え 3 足利義満	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、長らく分裂していた朝廷を一つにまとめる「南北朝の合一」を成し遂げました。これにより、足利尊氏の代から続いていた全国的な内乱が収束し、幕府による安定した統治体制が築かれました。彼は政治のみならず、金閣に代表される北山文化を築いたことでも知られています。
問6	答え 1 二毛作	鎌倉時代に西日本で始まったとされる二毛作は、室町時代に入ると水車の普及による灌漑技術の向上や、草木灰・下肥といった肥料の利用拡大、牛馬による耕作の普及を背景に、全国へと広がりました。これにより一年の間の土地利用効率が劇的に高まり、食料の生産量増加に直結しました。
問7	答え 3 勘合	足利義満が明の皇帝と国交を結んで始めた日明貿易では、明が発行した「勘合（勘合符）」という札が使用されました。この札は、当時東アジアの沿岸部で略奪を行っていた倭寇と、幕府が公認した正規の貿易船を明確に判別するための道具です。日本側と明側がそれぞれ半分に分けた札を持ち、港でそれらを突き合わせて照合したことから、この貿易は「勘合貿易」とも呼ばれます。
問8	答え 4 尚氏が統治し、東南アジアや中国、日本を結ぶ海上交通の拠点として中継貿易で繁栄した。	琉球王国は、中国大陸への朝貢を欠かさず良好な関係を保つ一方で、日本の室町幕府や東南アジアの諸国とも活発に交流しました。この広範なネットワークが、小さな島国であった琉球に大きな富をもたらしました。他の選択肢は、対馬の宗氏による朝鮮貿易や、北海道の開拓、江戸幕府の長崎貿易に関する記述であり、琉球王国の説明とは異なります。
問9	答え 3 土一揆	室町時代になると、農民たちは「惣」と呼ばれる自治組織を作って団結を強めました。凶作や重税、飢饉などが重なると、彼らは高利貸し（酒屋や土倉）を襲って借金の証文を破棄させたり、幕府に徳政令（借金の帳消しを命じる法令）の発布を求めたりしました。これを土一揆と呼びます。
問10	答え 3 馬借	室町時代には農業や手工業の発展に伴い、商品流通が活発になりました。特に近江国の大津や坂本は、琵琶湖の水運と陸上交通を繋ぐ拠点として栄え、ここで馬を利用して荷物を運んだ専門の運送業者が馬借です。彼らは単なる輸送だけでなく、後に徳政（借金の帳消し）を求める一揆の先導役となるなど、社会的に大きな影響力を持ちました。
問11	答え 3 建武の新政	鎌倉幕府を倒した後の1334年に、後醍醐天皇が公家中心の政治を復活させようとして始めたのが建武の新政です。この政治は武士の期待を裏切る内容が多く、わずか数年で足利尊氏らによって崩壊することになります。
問12	答え 2 明の皇帝から「日本国王」に封じられ、朝貢の形式をとる勘合貿易を開始した	足利義満は、巨大な帝国であった明との貿易による利益を重視し、明の皇帝に対して臣下の礼をとる「日本国王」の称号を受け入れました。これにより、形式上は中国の皇帝に貢ぎ物を捧げる「朝貢」という形での貿易が始まりました。選択肢にある元軍への対応は鎌倉時代の北条時宗、貿易港の制限は江戸時代の幕府、琉球王国による中継貿易は主に尚氏による統治下の出来事であり、義満の政策とは異なります。
問13	答え 3 内乱を未然に防ぐとともに、各地で強大な勢力を持つ守護を幕府の体制に協力させ、将軍の支配力を高めるため。	室町幕府の成立当初は南北朝の動乱が続いており、将軍の権力基盤は極めて不安定でした。山名氏や大内氏のように複数の国を支配する有力な守護は、時として幕府を脅かす存在となりました。足利義満は、明徳の乱や応永の乱などを通じてこれら有力守護の勢力を削減することで、幕府内部での内乱を防ぎ、守護を幕府の統制下に置くことに注力しました。これにより、各地の守護が幕府の秩序に従い協力する体制を築き、将軍を中心とした安定的な統治を目指しました。
問14	答え 2 勘合（勘合符）という合い札を使い、明の公認であることを証明した勘合貿易	室町時代の対外貿易において、当時の中国である明は倭寇を防ぐために正式な貿易船のみを認める方針をとりました。日本側は「勘合」と呼ばれる合い札を持参し、明の役人が保管する札と照合させることで、海賊ではない正式な使節であることを証明しました。これにより、安全かつ確実な貿易が行われるようになりました。
問15	答え 4 定期市	鎌倉時代には月に3回開かれる三斎市、室町時代には月に6回開かれる六斎市といった市場が各地で開かれました。これらは特定の日に開催されるため、まとめて定期市と呼ばれます。当時は日本で独自の貨幣が鑄造されておらず、中国から輸入された貨幣がこうした市場を通じて全国的な流通を支えました。